

安倍内閣発足の会頭コメント（2006年9月26日）

従来の内閣は重要閣僚ポストに実力者を据え、他は派閥順送りによる人事という構図だった。従って、大臣が代わっても官僚が政策を継続し、大臣はむしろ省の代弁者だった。小泉内閣後半から派閥より人物で起用するようになったが、今回もそれを踏襲され、それぞれの分野での実力者を起用された。官主導というよりも、内閣、政治がイニシアチブを取った形で、安倍首相が長期にわたる国益を考えて、日本の国の存在感を示す意図が見えた組閣だ。

京都商工会議所
会頭 村田純一